

業務時間：8：30～17：30

施設案内

休所日：毎週月曜日
(月曜日が祝日の場合、その翌日)

どんな施設なの？

社会教育の振興に資することを目的に設置された施設です。

何ができるの？

自然体験活動 団体宿泊訓練 スポーツ
各種研修 ワークショップ 野外プログラム

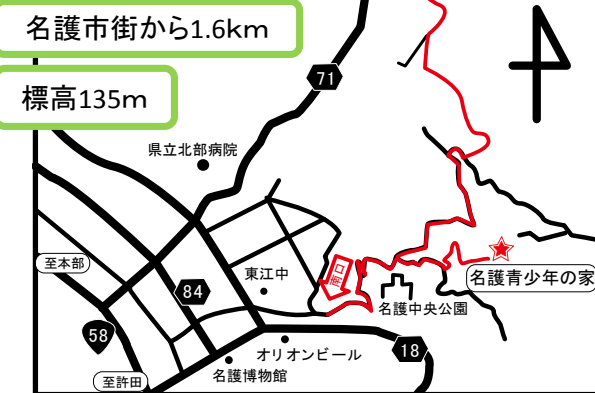
設備は？

キャンプ場 運動広場 天体観測デッキ
ハイキング・登山コース 浴室 食堂
研修室 宿泊室 体育館 講堂

誰でも利用できるの？

2名以上の団体なら、家族でもサークルでも、企業や職場の仲間でも誰でも利用可能です。

どこにあるの？



ご予約からご利用までの流れ

1. 利用希望日が決まったら、お電話ください。
「空き状況」を確認します(仮予約)。
2. 利用予定日の1ヶ月前までに、申請書※をご送付ください(本予約)。

3. 利用予定日の2週間前までに、スタッフと打ち合わせや施設の下見を行います。
4. ご利用日当日は、スタッフが適宜研修をサポートいたします。

※申請書は当施設HPよりダウンロードしてください。

URL <http://www.opnyc.jp/>

◆ 宿泊・施設利用料金

種類	宿泊室	キャンプ場 (テント泊)	野外炊飯 (薪代)	研修・訓練室 ※団体あたり	体育館・講堂 ※団体あたり
児童・生徒	300円/人	150円/人	50円/人	150円/時間	350円/時間
学生・一般	600円/人	250円/人	50円/人	350円/時間	700円/時間

※学校等の教育課程に基づく教育活動で利用する場合、予め免除申請書を提出いただければ、高校生以下の児童・生徒の利用料金が免除されます(但し、食事代とシーツ代、薪代は別途必要となります)。

発行 2013年(平成25年) 6月2日(日)



沖縄県立
名護青少年の家
Okinawa Prefecture Nago Youth Center

名護市名護5511

TEL:0980-52-2076 FAX:0980-52-3082
<http://www.opnyc.jp/>

指定管理者

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation



ブログ
も見てね!
QRコード



<http://www.opnyc.jp/staffblog/>



写真：沖縄で梅雨時期に咲く花「イジュ」

募集開始!!

親子ふれあいキャンプⅡ

おかげさまで名護青少年の家の人気イベント「親子ふれあいキャンプⅠ」「ホテルウォッチング」を好評のうちに終えることができました。

名護青少年の家には、まだまだ人気の事業が盛り沢山。その1つが「親子ふれあいキャンプⅡ」です。この事業の目玉は慶佐次川でのカヌー体験&マングローブ観察、そして40cmカセグレン反射望遠鏡を使用しての星空観察と夏を満喫できるプログラム。いよいよ6月13日(木)午前8時30分より募集を開始します。興味のある方は当施設まで御連絡を!!



名護岳に咲く花々

エダウチャガラ(枝打矢柄)
(*Eulophia graminea* Lindl.)

Vol. 2



名護中央公園内、展望台付近にて(5月22日撮影)

エダウチャガラ(*Eulophia graminea* Lindl.)は、ラン科イモネヤガラ属の多年草。

草丈は30～50cmで、4～6月ごろに花を咲かせ、花の時期は葉はつきません。

沖縄島以南の熱帯アジア地域に自生します。地生ランの一種で、日当たりのよい草地や原野に生育します。

環境に順応している状態であれば、亜熱帯域の強烈な太陽光が当たっても紫外線障害は生じません。周囲の植物が生長し、日当たりが悪くなると衰退し消滅します。

沖縄県レッドデータブック(2006. 沖縄県)では「絶滅危惧Ⅱ類」に指定されています。

かつては名護城近辺でよく見られましたが、自生地の開発や園芸用の採取などで個体数が減少しています。

和名は、花茎を矢の軸にたとえ、それが枝分かれすること由来します。

専門職員 宮城 徹



事業報告

主催事業

親子ふれあいキャンプⅠ 「スプリングキャンプ」

ゴールデンウィーク中の5月3日、4日、親子ふれあいキャンプⅠ「スプリングキャンプ」を当施設で開催。県内の家族16組約50名の皆さんが、春の名護岳での1泊2日の野外生活を楽しみました。

参加した皆さんは、専門職員から指導を受けて、さまざまなアクティビティを体験。芝生の広がるキャンプ場に、家族みんなで力を合わせてテントを設営したり、鳥の鳴き声のような音を鳴らせるクラフト「バードコール」を作り上げるなどしました。夕食は、グループを組んでの野外炊飯に挑戦。メインディッシュはダッチオーブンをを使ったローストチキンで、子どもたちが中心になって調理を担当。野菜や鶏肉の下ごしらえに奮闘しながらも、和気あいあいと親ぼくを深めていました。



ハイキングコースを散策し、
いろんな生き物を観察しました。

名護岳を散策する自然観察会もあり、専門職員の詳しい説明をききながら、ホタルやさまざまな動植物をじっくり観察するなどし、豊かな自然を満喫しました。

金武町から参加した嘉芸小学校3年生の前田旺輝君は、「ハイキングで見つけたコバナヒメハギの根っこが、ルートビアみたいなおいがしてびっくりした。1泊2日だったけど、いろんな体験ができてよかったです」。母親の彦枝さんは「自然の中で子どもが元気よく楽しんでいたのが印象的。ゆっくりとした時間を過ごすことができてよかったです」と話してくれました。

那覇市から参加した、さつき小学校4年生の城間可有君、弟で2年生の可成君は、「バードコールづくりがおもしろかった。料理は包丁を使うのが難しかったけど、みんなで作ってとても楽しかったです」とニコリ。父親の正邦さんは、「親に頼らず自分で考えて行動するようになっていたり、発表ではすすんで手を挙げたりしていて、2人とも男らしくなってきたなと感じました」と感慨深げに話してくれました。

[文：ボランティアスタッフ まえかわあやこ（ライター）]



参加者の皆さま



家族で協力してテントを張る参加者



野外炊飯（ローストチキン）に挑戦する子ども達

自主事業

ホタルウォッチング



当施設の自主事業「ホタルウォッチング」を5月18日（土）夜、名護岳で開催しました。子どもから大人まで約30人が参加し、幻想的なホタルの乱舞を観察しました。

毎年恒例となっているこの事業は、県立辺土名高校校長の安座間安史先生を講師に迎え、ホタルについて楽しく学ぶことができ、好評を得ています。

この日はまず、安座間先生の講話でホタルの生態などを詳しく学んだあと、当施設付近で実際にホタルを観察できるスポットへ向かいました。そして、安座間先生や専門職員から説明をききながら、オキナワスジボタルやクロイワボタル、それにホタルの幼虫が発光する様子にじっくりと見入っていました。

名護市内から参加した、大宮小学校3年生の峯本幸典君は、「ホタルの種類によって光り方が違ったのがおもしろいと思いました。あと、幼虫の観察もとても楽しかったです」と笑顔で話していました。

[文：ボランティアスタッフ まえかわあやこ（ライター）]



ホタルについて講義する安座間先生



参加者の皆さま

● 事業案内 ●

主催事業 「ボランティア養成講座」

期 日：平成25年6月15日（土）～16日（日）

対 象：高校生以上

定 員：25名程度

参 加 料：1,200円（食事代・保険料など）

募集期間：平成25年5月28日（火）～6月11日（火）

自主事業 「親子ふれあいキャンプⅡ」

～カヌー体験&星空観察～

期 日：平成25年7月6日（土）～7日（日）

対 象：親子（子どもは3歳以上）

定 員：15家族50名程度

参 加 料：4,000円

（カヌー体験、食事代、保険料など）

募集期間：平成25年6月13日（木）～28日（金）

自主事業 「慰霊の日の奉仕活動」

～和球の碑清掃～

期 日：平成25年6月16日（日）

対 象：小学生以上

定 員：20名程度

参 加 料：無料

募集期間：平成25年6月3日（月）～14日（金）

～Coming Soon～

○夏休み宿題お助け隊

・平成25年8月25日（日）

・小学生50名程度

○親子ふれあいキャンプⅢ ～名護岳お月見キャンプ～

・平成25年9月21日（土）～22日（日）

・5家族25名程度